

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成25年10月3日 (2013.10.3)

【公開番号】特開2012-71003(P2012-71003A)
 【公開日】平成24年4月12日 (2012.4.12)
 【年通号数】公開・登録公報2012-015
 【出願番号】特願2010-219192(P2010-219192)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/00 1 0 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月20日 (2013.8.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 7】

表示部 1 4 0 は、ディスプレイ（たとえば、LCD（Liquid Crystal Display））を含む。表示部 1 4 0 は、制御部 1 1 0 によって制御されて、所定の映像をディスプレイに表示させる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 5】

ねがえり動作の場合、ベッド 2 0 の側端に平行な境界線 2 2 を横切った特徴点 1 5 の割合が、所定割合（5 %）以上であるか否かを判断し、所定割合以上であれば、ねがえりをしたと判断する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 6】

ベッド 2 0 から降りようとしている動作または落ちる方向に向かっている動作の場合、ベッド 2 0 の側端に平行な境界線 2 2 を横切った特徴点 1 5 の割合が、所定割合（30 %）以上であるか否かを判断し、所定割合以上であれば、ベッド 2 0 から降りようとしている、または、落ちる方向に向かっていると判断する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 7】

ベッド 2 0 から降りる動作または落ちる動作の場合、ベッド 2 0 の側端に平行な境界線

22を横切った特徴点15の割合が、所定割合(95%)以上であるか否かを判断し、所定割合以上であれば、ベッド20から降りつつある、または、落ちかけていると判断する。